

学びを
止めない

授業改善と家庭学習で 自律的学習者を育てる

—「with コロナ」「after コロナ」の視点から—

はじめに

児童生徒の「学びを止めない」ために

小学校から順次、新学習指導要領の全面実施を迎える予定であった令和2年度。多くの学校で3月から新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業措置を取らざるを得なかった状況下においても、学校や地域の状況も踏まえ、戸惑いつつも、試行錯誤しながら児童生徒の「学びを止めない」取組を推進してきました。

学校再開後も、社会全体が長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識の下、学校には「学校の新しい生活様式」に基づき、児童生徒の確かな「学びを保障」することが求められており、新学習指導要領の趣旨を踏まえ「何ができるようになるか」（育成を目指す資質・能力）を意識した上で、「何を学ぶか」（指導すべき内容）を明確化し、今般の事態を受けた様々な環境変化を踏まえ「どのように学ぶか」（指導方法）を柔軟に見直すことが求められています。

学校は、単なる知識や技能を効率的にインプットする場ではなく、教師や友達などの「他者」や「環境」との相互関係の中で、多様な意見や社会での生き方をはじめ、多くのことを学び、成長する場であることは言うまでもありません。だからこそ、「学校で教師と児童生徒や友達同士の関わり合いを通して深める学びとはどういうものか。」「限られた時間の中で、効率的に学びを進めるに当たっては、何をどのような優先順位で進めていけばよいのか。」「ICTの活用を含む多様な学習活動を、どう指導計画に位置付けるのか。」「家庭学習での学びとはどのようなもので、授業とどのように結び付けるのか。」など、コロナウイルスの収束まで（with コロナ）と、収束後の新たな社会（after コロナ）を見据え、これまでの学校での学びを改めて見直す機会と捉え「変化すべきこと」「変わらず行うべきこと」を大胆に見直すとともに、新たな「レガシー」をつくるんだという気概の下、自ら深い学びに向かっていく児童生徒を育成し、「自律的学習者」に導くことが必要です。

そのためにも、「授業と家庭学習」「平日と休日」「学期中と長期休業中」「義務教育とその後の人生」など、それぞれの場面において、児童生徒がこれまで以上に主体的に授業や家庭学習に取り組むことができる手立てを講じていきたいと思います。



岡山県マスコット「ももっちと仲間たち」

「自律的学習者を育てる」という視点から、これまでの取組を見直すとともに、これからの家庭学習の更なる充実と授業改善につなげてください！

目次

臨時休業前 01

- ・岡山県の現状と休業中の様子
- ・自律的学習者を育てる考え方
- ・関係性を構築するコメント例

臨時休業中 04

- ・家庭学習の留意点
- ・具体的取組例
- ・ICT活用

臨時休業後 14

- ・学びの保障
- ・学校の取組の具体

補足資料 16

- ・生活カード
- ・計画表

自律的学習者
の育成に向けて！

臨時休業前

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果、岡山型学習指導や家庭学習のスタンダード、その増補版において、岡山県の課題を示してきました。改めてそれを見直してみましょう。

岡山県の現状(家庭学習のスタンダード増補版より)

学年が上がるにつれて、家庭での学習時間が減少



家庭学習のスタンダード増補版

課題1	取り組む目的の第一義が「提出すること」となっている。
課題2	授業との連動が十分でないため、取り組んだ価値を感じにくい。



学習内容の確実な定着

適切な課題の質と量、定着状況の把握と評価

自ら学ぶ力の育成

「やらされ感」からの脱却、自ら学ぶ意欲の喚起

臨時休業中の様子



プリントやドリルばかりの宿題で、ますます学力や意欲の差が開いてしまわないか、心配だなあ……。

宿題は5分で適当に済ませて、後はゲームで遊んでばかり。もっと先生は宿題出してくれればいいのに……。



取り組む価値を児童生徒や保護者に、どのように伝えましたか？

学習内容や個に応じたレベルの課題でしたか？



提出させることを目的にしていませんでしたか？

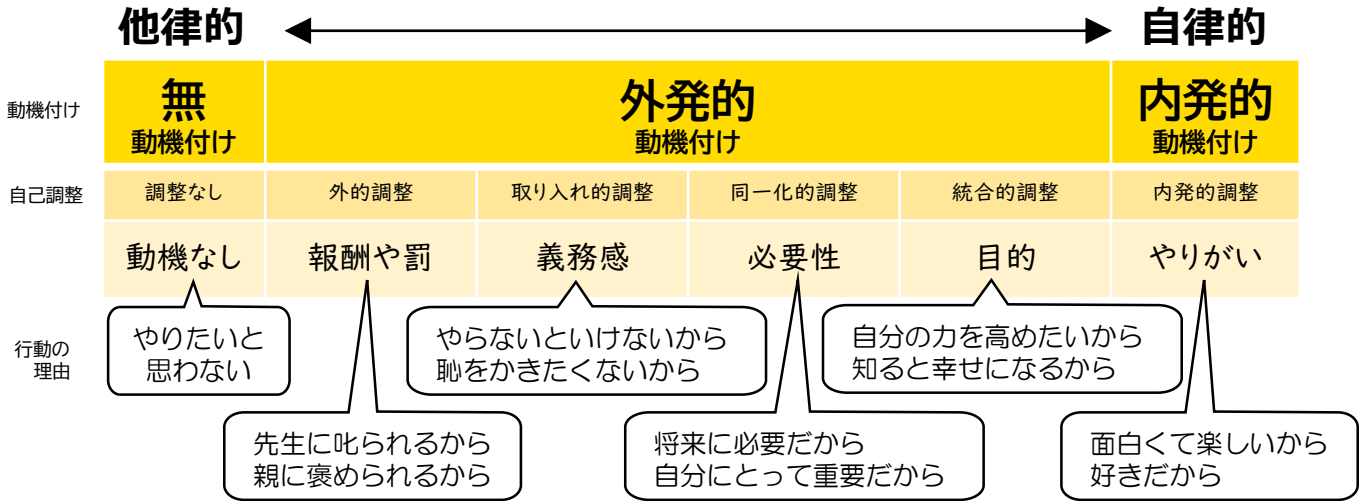
丁寧なフィードバックで、学習意欲の継続と個へのフォローを意識していましたか？

これらは、決して臨時休業で顕在化した課題ではありません。児童生徒に力を付ける家庭学習の在り方を見直し、「自律的学習者」の育成を目指して取組を「一歩先へ！」進めましょう。

■「自律的学習者」を育てる考え方の例

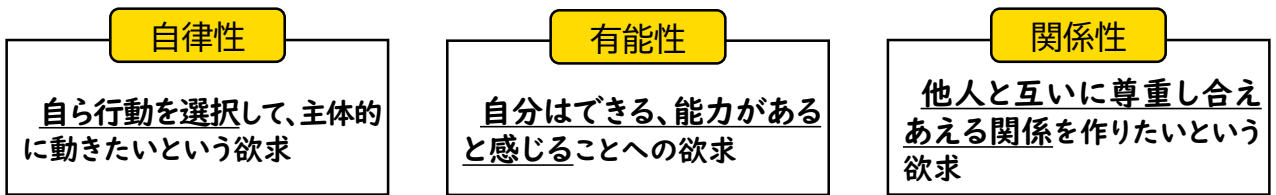
自律的学習者を育てるに当たっては、動機付けが非常に重要であり、罰だけでなく、報酬を与えることも逆効果になるという研究も多く発表されています。

ここではDeci&Ryanによる「自己決定理論 (self-determination theory)」を家庭学習に当てはめて紹介しますので、これまでの御自身の取組を見直してみてください。



出典：「教育心理学」(2014、一藝社) を参考に上図等を作成

上図は、自己調整の度合いにより、他律的な学びと自律的な学びが連続していることを6段階で表したものです。自律的な行動(学び)に向かうには、以下の3つの欲求を満たしながら自己調整を図っていくことが大切だとされています。



【休業中に自律的学習者を育てる考え方の例】

【自律性】を妨げる可能性がある例

- 一律の時間割で生活することを求める。 →
- 課題にかける時間や方法を一律にする。 →

工夫した例

学び方や生活時間を各自で決めさせる。
導入の話・学習到達度も含めて課題を示し、
取り組む時間や方法は各自で決めさせる。

【有能性】を妨げる可能性がある例

- 同じレベルの問題だけの課題を出す。 →
- 課題を提出させることを目的にする。 →

工夫した例

難易度に差がある課題を課し、自己選択させ、「できる」感覚を適宜もたせる。
学習到達度を示して自己調整を図らせる。
課題を終えるまでの過程を可視化する。

【関係性】を妨げる可能性がある例

- 提出状況のチェックだけで終わる。 →

工夫した例

電話やメールも活用して、取組状況等について確認し、支援や指導を行う。

■関係性を構築するコメント例

児童生徒の学習への動機付けにおいて、教師とのつながりは大きな影響があります。臨時休業中は登校日等の限られた時間や、提出物等へのコメントで関係をつなぐ工夫に取り組まれたと思いますが、コメントを含めた適切なFeedbackは、工夫次第で児童生徒の学びに向かう力を高めることにつながります。

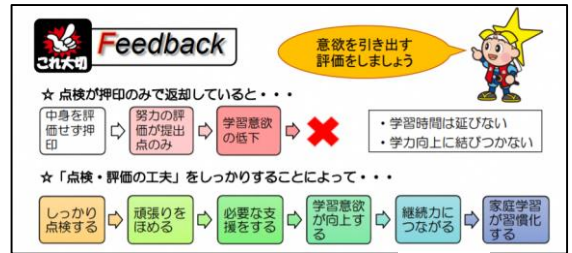
「家庭学習のスタンダード増補版」でも示してきたように、頑張りを称えるコメント、考えを広げるコメント等、コメントを受け取る児童生徒の反応を意識しながら、Feedbackの工夫に取り組んでください。

視点① 児童生徒の**努力**を認める



たくさんの資料を基に、まとめが工夫できているよ。最後の一文字まで、丁寧に書けているね。

家庭学習のスタンダード増補版



視点② 児童生徒の**成長**を認める



ノートのまとめ方がだんだんうまくなってきていますね。文字もとても読みやすくなってきました。

家庭学習のスタンダード増補版

視点③ 児童生徒の**工夫**を認める



自分から進んで、表にまとめることでわかりやすくなっているよ。自分の言葉でまとめることもできているね。

視点④ 児童生徒の**発想**を認める

先生も思いつかなかったアイデアが書けていたね！自主学习ノートでさらに深めていくと、おもしろいと思うよ。



視点⑤ 児童生徒の**発想**を広げる



大事なところをわかりやすくまとめていますね。この意見には賛成ですか、それとも反対ですか。理由も教えてください。



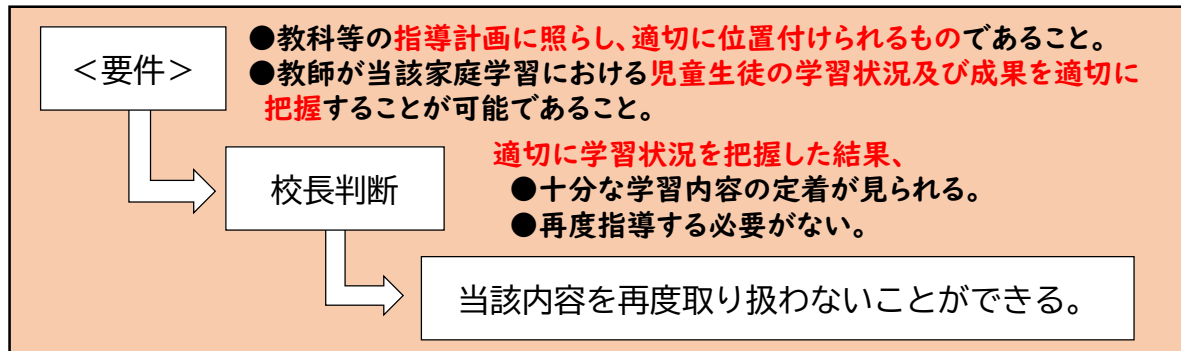
臨時休業中

臨時休業中は、学習保障に関わる文部科学省の通知の中で、**家庭学習の留意点が示されました。**



①令和2年4月10日付け 2文科初第87号 初等中等教育局長通知より 2文科初第87号通知

新型コロナウイルス感染症による臨時休業を実施した場合、**学校再開後に可能な限り補充のための授業等を講じること**とされている。ただし、**休業が長期化し、教育課程の実施に支障が生じる事態に備えた特例的な措置**として、**<要件>**を満たした家庭学習に取り組ませることで、学校再開後に当該内容を再度取り扱わないことができる**と示されている。**



②令和2年4月21日付け 2文科初第154号 初等中等教育局長通知より



2文科初第154号通知

ア. 学校が課す家庭学習の充実

規則正しい生活習慣を身に付け学習を継続するとともに、学校の再開後も見据え、**学校と児童生徒との関係を継続することができるよう**

各教科等において、主たる教材である教科書及びそれと併用できる教材等に基づく家庭学習を課すこと

イ. 児童生徒の学習状況の随時把握

家庭学習を適切に課した上で、**教師が児童生徒の学習状況を随時把握し、指導に生かしていくことが重要**

教師が定期的に個々の児童生徒との間で電子メール等のICTや電話、郵便等を活用した学習状況の把握を行う。

ウ. ICTの最大限の活用

児童生徒に家庭学習を課す際や学習状況の把握を行う際には、**ICTを最大限活用して遠隔で対応することが極めて有効**

⇒家庭環境やセキュリティに留意しながら、**まずは家庭のパソコンやタブレット、スマートフォン等の活用、学校の端末の持ち帰りなど、ICT環境の積極的な活用に向け、あらゆる工夫をすること。**




※なお、②の通知は、令和2年6月5日付け 2文科初第382号 文部科学事務次官通知によることとなっています。

■カリキュラム・マネジメントの例

家庭学習で未習の内容を扱うことも文部科学省から示されました。教育課程に基づくことが前提ですが、従来の年間指導計画に沿うだけではなく、未習だからこそ、どの内容や単元が家庭学習として適切かを考え、課題を設定することが大切です。

内容の工夫例



家庭学習に適した内容を優先することが考えられます。

例	取組の具体	学習状況の把握方法と学習支援の例
国語科	<p>漢字学習や教材の音読といった主に「知識・技能」に関わる内容を優先する。</p>  <p>※話し合い活動や交流する活動等は、学校再開後や登校日等で実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進度を電話や課題提出状況（持参、メール等）で把握する。 ・登校日に小テスト等で定着状況を把握する。 ・間違えた漢字を再度練習する課題を出す。
音楽科	<p>リコーダーの指使いといった主に「知識・技能」に関わる内容を優先する。</p>  <p>※合奏や演奏の工夫等の内容は学校再開後や登校日等で実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の状況を電話で確認したり、難しいところをメールで相談したりする体制を整える。 ・技能の定着状況に課題がある場合は、登校日等に支援を行う。
家庭科	<p>「学校で学んだことを家庭での実践につなげる」という流れを逆にして、「料理や掃除等、家庭での実践で気付いたことをノートにまとめる課題」を優先する。</p>  <p>※ノート等の内容を踏まえて、学校再開後や登校日等に教科書の内容理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を準備し、提出する期日を設定した上で、登校日やメール等を利用して課題を提出させ、内容を確認する。 ・課題に取り組むことが困難な児童生徒には、教科書で参考にするページを示す。

令和2年4月30日発行「教科書を使った家庭学習のススメ 其の壱」

実施時期の工夫例

家庭学習に適した単元を優先して実施することが考えられます。

全体	<p>他教科は少なめにして、個人によって必要な時間が異なる総合的な学習の時間の調べ学習の部分を家庭学習の中心とする。</p> 
理科	<p>理科の実験単元は家庭学習で行うことが難しいため、観察単元等を優先して行い、テレビ番組やインターネットを活用したワークシートを課題とする。</p> 

■ 予習型家庭学習の例

授業で未習の内容について家庭学習を課す例を、「家庭学習のススメのまとめ」等で紹介してきました。この場合、登校日等に進捗状況の確認や小テストを行うことに留意する必要があります。また、登校日前に、進捗状況の確認や質問のやり取りを通して、対話的に学習を進めていくことができるようにすることが大切です。

これは、「家庭学習のスタンダード増補版」で示してきた流れと同様です。休業中でも平常時でも、短期の点検サイクルを確立することが大切です。

家庭学習に適した内容の課題 (教科書活用)

教科書を使った家庭学習のススメ (教科書活用)

4年国語 つなぎ言葉のはたらきを知ろう

【別紙1】 岡山県教育庁 高松教育課
光村図書「国語四上 かがやき」P81～83

単元の目標
 ○接続する語句の役割について理解することができる。
 ○自分の気持ちに合った文章にするために、接続する語句を使い分けができる。
 ○接続する語句のよさに気付くとともに、日常生活において活用しようとする。

単元の指導計画 (全2時間)

第1時 「つなぎ言葉のはたらきについて考えよう」
 ①提示された文章から、「だから」「しかし」といった接続する語句に着目して本時のめあてをもつ。
 ②接続する語句の役割を確認しながら、文の続きを考えて書く。
 ③自分の考えを発表する。
 ④接続する語句は、文のつながり方をはっきりさせる役割があることについて学習をまとめる。
 ⑤学習を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。

第2時 「つなぎ言葉を使って文章をつくらう」
 ①提示された様子や書き手の気持ちを表す文章から、本時のめあてをもつ。
 ②接続する語句を使いながら、自分の気持ちを表す短い文章を書く。
 ③書いた文章を友達と交流する。
 ④自分の考えや気持ちに合った「つなぎ言葉」を使うことの大げささ等について学習をまとめる。
 ⑤学習を振り返り、日常生活における活用に見通しをもつ。

【別紙2】 ワークシート(1) から学習状況を把握する視点

○「つなぎ言葉」のはたらきの欄に、「つなぎ言葉」の役割として「前の文と後ろの文のつながり方をはっきりさせる」といった内容を記述することができるかどうか。
 ○①から④の問いに対して、「つなぎ言葉」の役割に合った使い方ができているとともに、文章の意味がわかるように文の続きを書くことができているかどうか。

【別紙2】 ワークシート(1) 「つなぎ言葉のはたらきを知ろう」教科書p81～83ページ

学習日 月 日 名前()

理由

① 山本さんは「かき」が上手です。
 ② 山本さんは「かき」が上手です。
 ③ 山本さんは「かき」が上手です。
 ④ 山本さんは「かき」が上手です。

【別紙2】 ワークシート(2) 「つなぎ言葉を使って文章をつくらう」教科書p83(2)ページ

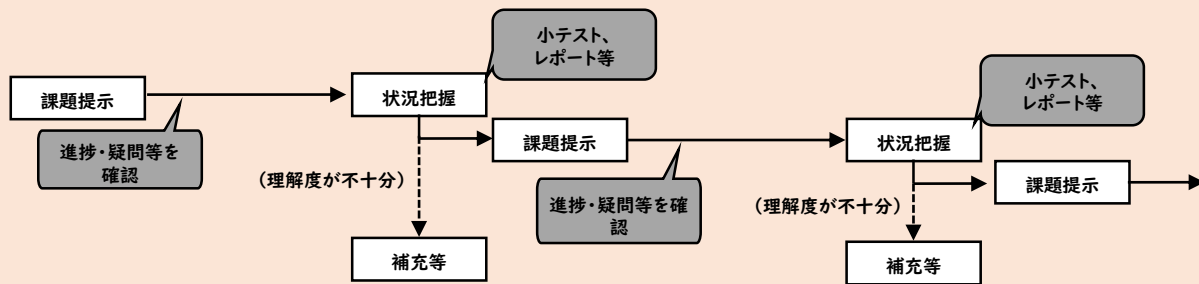
学習の様子

① みんなで問題を話し合い、自分たちの考えを発表しました。
 ② 先生は「かき」が上手です。
 ③ 先生は「かき」が上手です。
 ④ 先生は「かき」が上手です。



令和2年5月18日発行「家庭学習のススメのまとめ」

登校日等に状況把握する流れの例



家庭学習のスタンダード増補版

Cycle **これ大切**

本時 家庭 次時

授業 宿題 小テストで確認

授業とのつながり

放課後 補充学習

不十分な生徒 つまずきの確実な解消

「小テスト」を活用し、短いサイクルで定着確認を行い、補充学習指導等で定着が不十分な生徒のつまずきを確実に解消することが、次の授業の充実につながります。

短期での点検サイクルを確立しましょう。






短いサイクルでの確認と補充学習が内容の確実な定着につながります！



家庭学習のスタンダード増補版

■テレビ活用の例

未習の内容を家庭学習で扱う際、テレビやインターネットを活用すると、様々な情報や先哲の考えにふれることができるため、非常に効果的です。教員の課題の与え方によって、未習の内容への関心を高めたり、思考を働かせたりすることもできます。

	LEVEL1	LEVEL2	LEVEL3
	4月27日号	4月28日号	5月15日号
通信			
教員の役割	<p>教育課程に即して</p> <p>番組を選ぶ</p>	<p>教育課程に即して</p> <p>番組を選ぶ</p> <p>+</p> <p>課題を設定</p>	<p>教育課程に即して</p> <p>番組を選ぶ</p> <p>+</p> <p>番組や教科書を組み合わせる</p> <p>+</p> <p>課題と学習到達度を設定</p>
学びの観点	<p>主に</p> <p>興味・関心</p> <p>+</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>主に</p> <p>知識・技能</p> <p>+</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>主に</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>+</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>
状況把握と事後指導	<p>ノート回収とコメント記入等</p>	<p>小テストの実施と補習等</p>	<p>レポートの提出と追加課題等</p>

■インターネット活用の例

インターネットが利用できる環境が全ての家庭に整っているわけではありませんが、活用によるメリットは非常に大きいものがあります。また、未来を生きる子どもたちに情報活用能力は不可欠であり、利用できる環境がない家庭への対応を考えながら、できるところから積極的に活用していくことは大変重要です。家庭と学校、デジタルとアナログを融合させることで対話的な学びが充実します。

インターネットやコンピュータを活用すると、どのような学びが実現できるか、そのために必要なスキルは何か等を共通理解し、可能な範囲で積極的に試行錯誤しながら取り組んでいくことが求められています。

動画等を視聴する例

授業動画やものづくり動画、NHKの番組等が以下のサイトに紹介されています。「視聴して理解する」「視聴した後にアウトプットする」といった学習が考えられます。



説明部分を動画視聴で代替すれば、学校で協働的な学習に時間をかけられる。



自分が分かるまで何度でも見ることができる。

○ 文部科学省「子供の学び応援サイト」



○ 岡山県生涯学習センター「OKAYAMA おうち Lab.」



ドリル等を使用する例

有料・無料があります。以下のサイトで「未来の教室」プロジェクト実証事業に関わるEdTech事業者を中心に、期間限定で無料使用できるものも紹介されています。



主に知識・技能の観点に関わる習熟や復習を効率的に行うことができる。



自分にあった課題に、自分のペースで取り組むことができる。

○ 経済産業省「学びを止めない未来の教室」



やり取りする例

課題の提示、ワークシートや資料の配付、チャット機能や会議システムの使用により、効果的・効率的な家庭学習に取り組ませることができます。

また、授業のみならず、朝の会や質問の受け答え等を通して、児童生徒の心身の健康状態を把握することもできます。



休業中でも、児童生徒の心身の健康状態を把握できる。



課題で分からないところを質問したり、先生や友だちと交流したりできる。

休業期間中、岡山県立学校（高等学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校）では、G Suite for Education™ を使用した取組を始めています。

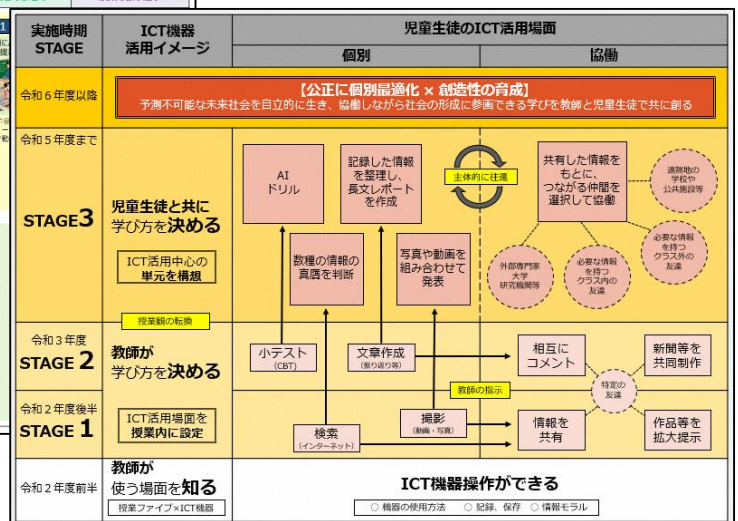


【Google Classroom™ の画面】

以下の資料を参考に、**通常の授業の中でICTを活用していくことが**、児童生徒の情報活用能力の育成や休業中の家庭学習充実につながっていきます。

授業5 × ICT機器		【岡山県版】ICT機器授業活用確認シート				
		①	②	③	④	⑤
		めあての提示	自分で考える時間	表現する時間	達成度の確認	学習内容のまとめ
教員	STAGE 1	A1 教師による教材の提示	B2 調査活動	C1 発表や話し合い		A1 教師に問
	STAGE 2	B1 個に応じる学習	B3 思考を深める学習	C2 協働制作		B1 個に応じる学習
児童・生徒	STAGE 1	B1 個に応じる学習	B3 思考を深める学習	C2 協働制作		B1 個に応じる学習
	STAGE 2	B1 個に応じる学習	B3 思考を深める学習	C2 協働制作		B1 個に応じる学習

【ICT機器授業活用1・2・3】



【授業5 × ICT機器】


各教科等における「ICT活用事例集」を義務教育課が作成・発出する予定です。

■目標や学習到達度の共通理解、長期的な課題の例

「課題（宿題）はとりあえず提出すればいい」と考える児童生徒は少なくありません。しかし、決して提出させることだけが目的ではなく、「宿題でも力を付けてほしい」と願って課題を課しているはずで、臨時休業中は、学習の目的の確認や動機付けが十分でなかったため、児童生徒と教師の間にギャップが生まれたかもしれません。

家庭学習を充実させるためのポイントの1つに、児童生徒と目標や学習到達度を共通理解することがあります。また、発達段階に応じて、数日から1週間といった長期的な課題を与えることで、計画的に学習に取り組む姿勢を養うこともできます。さらに、「家庭学習のスタンダード」で示した「自主学習2（興味・関心のあるテーマ）」の内容を扱うことも考えられます。

目標や学習到達度が ない場合



教科書を読むことが宿題です。

1回読めばいいんだな。




目標や学習到達度が ある場合

来週、音読発表会をします。良い発表を具体的に考えると？


「見ずに発表！」「身振りをつけて発表！」

まず、自分の目標を立てましょう。

その目標に近づくように教科書を読む練習をすることが宿題です。



教科書を見なくても発表できるように、何回も練習しよう！




学習した単元をノートにまとめましょう。

教科書を写せばいいんだな。



学習した単元をノートにまとめましょう。学習到達度はプリントに示しています。

教科書と資料集に共通することを中心にまとめをするとともに、自分の考えを必ず書いてください。それ以外の資料も活用できるとさらにいいですね。



教科書と資料集の両方を読まない！あと、図書館の本も見てみよう！



臨時休業中「中学校英語科の家庭学習は単語練習や予習ノートづくりなど、どうしても書くこと中心の課題が多くなってしまいます。」という声が聞かれました。

テレビの英語番組を活用し、「聞くこと」や「書くこと」の家庭学習に取り組み、授業再開後の「話すこと」の学習にもつなげていく一例を紹介します。

◆テレビ番組等を活用した家庭学習のねらい

1. 「聞くこと」の学習機会を確保する。
2. 番組の会話（やり取り）を参考にスキットを考えさせ、「書くこと」の活動へつなげる。
3. 授業再開後の言語活動またはパフォーマンステストなどで「話すこと」にもつなげる。

家庭学習レポート (生徒記入例)

Class No. Name _____
Date _____

テレビかインターネットで次の番組を見て、課題に取り組みましょう。
『知りたガールと学ボーイ』 ※どの回を見てもよいです。
(テレビ:NHK Eテレ木曜午後7:40/月曜午前5:30 インターネット:NHK for School いつでも)

1. 番組内の会話をよく聞いて、聞き取れた表現を書きとめよう！
・番組内の中心表現や今までに学校で学んだ表現、初めて知った表現(最初に☆印をつける)を書いてみよう。
bread ナードル ビーンズ ※聞き取れた英語を単語、文、カタカナでも書き留める
Do you want to try some Japanese bread? This one.
Have you ever tried Japanese bread? Which one do you like best?
similar taste How is it? *rad * I do like sweets. *see stars

2. オリジナルスキットを作ろう！
・番組の会話や今までに読んだ教科書の会話を参考にして対話文を作ろう。
・番組で使われた表現を中心に、学校で学んだ表現も自由に使おう。
(前年度の教科書やノートを参考にしてください。)

【スキットの設定】

誰と誰の対話	自分とALTの〇〇先生
場面・状況	2人でカラオケに行って、何を歌おうかと話している場面

【スキット】

目標は「3往復」の対話です。
3年教科書 p. の対話を参考に作ってもいいですよ。

自分: Have you ever been to karaoke in Japan?
〇〇先生: Yes. I often go to karaoke near my house.
自分: Oh, really? Do you sing English songs?
〇〇先生: No. I always sing J-POP. For example, Nogizaka46, HigeDAN, Aimeyon, and many singers.
自分: Who do you like best?
〇〇先生: I love Misora Hibari.
自分: She is not a J-POP singer.

3. 振り返り

番組の会話の概要を聞き取れましたか? だいたいわかった ・なんとなくわかった ・よくわからなかった
スキット作りで先生に質問したいこと
テレビでは Which do you like best? と言って、the best じゃなくても通じました。これでいいですか。



岡山県マスコット「ももっち」

番組の会話を参考に、目的・場面・状況に応じた英語使用を意識させましょう！

「聞くこと」
NHKの英語学習番組を使用した例です。

「話すこと」
事前にゴールを示しておくことが大切です。
授業で発表することを目標にすると、家庭学習への意欲向上につながると考えられます。

「書くこと」
登校日等に提出させて添削したり、ヒントや参考表現を書いたプリントを用意したりすることも考えられます。



複数の資料から必要な情報を選択し、自分の考えを再構成できる力が求められています。テレビ放送はそのような家庭学習を課す場合に有効利用できます。



Eテレを使った家庭学習 LEVEL 3

- ①先生から出された課題を確認する。
- ②学習到達度を確認する。
- ③複数の資料から情報をインプットする。
- ④自分の考えをアウトプットする。
- ⑤登校日等を利用して課題を提出する。

番組の視聴

課題
+
番組の視聴

学習到達度
+
課題
+
番組の視聴や
他の資料

LEVEL3での教師の役割は、LEVEL2の「課題を設定すること」に合わせて、「**学習到達度を設定すること**」です。また、番組の視聴だけではなく、教科書等の資料を複数組合せて課題解決を図るような課題にすることで、思考力を働かせるように促します。LEVEL1や2と比較すると、課題解決に時間を要するので、数日もしくは一週間程度の期限で提出を求めることも考えられます。



岡山県マスコット
「ももち」

【例】小学校6年生 家庭科

単元名:「いためてつくろう」
番組名:カテイカ「野菜をいためようじゃなイカ」
放送日時:5月27日(水) 9:50~(再放送:6月3日)

【課題】朝食の役割やいためる料理のポイントを
知り、自分の朝食を見直して、レポートにまとめよう。

①教科書をまとめる

教科書(P.69)を読んで、朝食の役割を調べよう。

活動に必要な () を得ることができる。
脳や体を () させる。
一日の () をつくる。

教科書(P.72~73)を読んで、ポイントをまとめよう。

なぜ材料によって切り方をかえるのだろう。

- () の通りをよくする。
- () をしみこみやすくする。
- 食べやすくする。

(以下、省略)

②番組の内容をまとめる

「カテイカ」を見て、朝食の役割、野菜炒めの
ポイントを見つけよう。



③レポートに自分の考えをまとめる

自分の朝食を見直し、メニューを考えよう。

Aに近づくように自分の考えを書きましょう。その時、教科書やテレビ以外の資料を使ってもかまいません。

A: 自分の朝食の良いところと課題をふまえて、より良いメニューを考えるとともに、その料理のポイントが書けている。

B: 自分の朝食の良いところと課題をふまえて、より良いメニューを考えて書けている。

C: 自分の朝食の良いところと課題が書けていない。

知識を定着させるには復習が重要です。「自律的学習者」の育成の視点として、自ら学習課題を見出し、内容を自分で選択し、例えば苦手としている問題や興味・関心を持ったことなどを調べる「自主学習」を課題として出すことも考えられます。

また、評価として、宿題を提出しなければ減点という考えだけでなく、自ら課題に取り組んだ過程を評価して、加点方式で意欲を継続させる工夫も効果的です。

宿題

自主学習1

授業の予習や復習から始める


自主学習2

興味や関心のあるテーマで学習する

教科書の練習問題を自主的な課題としたり、家庭で新聞を活用した調べ学習をさせたりと、既に多くの学校で自主学習につながる取組をしています。これらの取組を見直し、教科指導の観点に加え、「自ら学ぶ力」を育む観点から、自主学習を意図的・計画的に取り入れることが必要です。

また、自主学習は、短期間で質を高めるのは難しく、長い時間をかけて取り組むことで質が高まると考えられるため、小学校の低学年から計画的に取り組ませることが重要です。

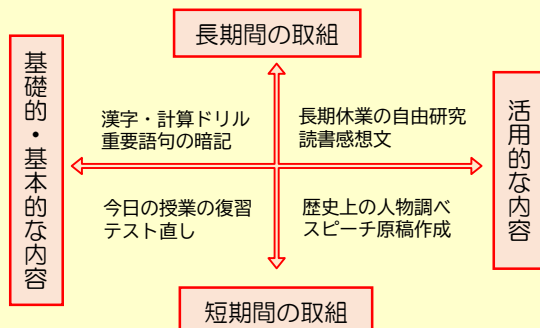
そのためには、自主学習の取組例を示したり、授業で自主学習ノートを作る練習をしたりと、学校や学年として統一して行うべきことは何かをしっかりと話し合い、学校として共通理解し、組織的に指導することが大切です。

疑問	何に取り組んだらいいのか分からない	自分に合う教材が見付けられない	どんな自主学習ノートにすればいいのか分からない
事例	自主学習の取組例を示す  瀬戸内市立美和小学校	自由に利用できるプリント  浅口市立金光小学校	自主学習ノートの展示  浅口市立六条院小学校

<家庭学習の課題を分析しよう>

学校で家庭学習を話し合う際に、家庭学習を長期的・短期的といった取組の時間軸、基礎的・基本的、活用的といった内容面の軸に分けて整理してみると、現在の家庭学習が意図的・計画的な取組となっているかよく分かります。

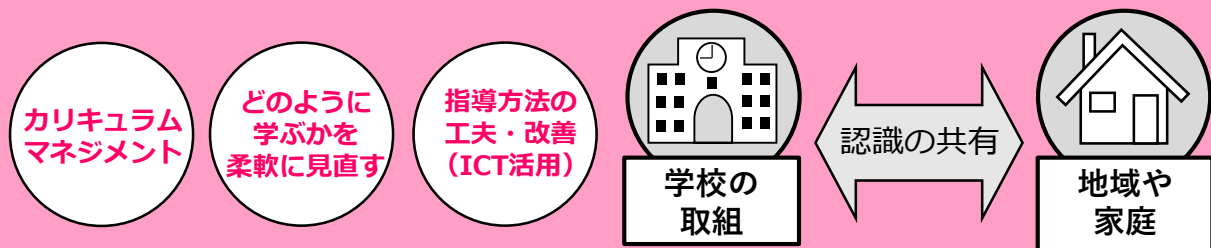
児童生徒の実態を踏まえた家庭学習となっているかを確認してみましょう。



子どもたちを誰一人取り残すことなく、感染症対策を講じながら子どもたちの健やかな学びを保障してください。

「学びの保障」について

- 新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、子どもたちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていくことが重要
- 学校教育が協働的な学び合いの中で行われる特質を持つことに鑑み、授業時数の確保に努めることは当然のこととして、学校行事等も含めた学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進めていくことが大切
- 新学習指導要領の趣旨に則り、以下の基本的な考え方に基づき教育課程を編成し、学校教育活動を実施することが必要



令和2年5月15日付け 2文科初第265号 「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について（通知）」を図式化



学校の取組の具体

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動の実施に当たっては、学校・家庭・地域が連携し、あらゆる手段で、子供たちを誰一人取り残すことなく、**最大限に学びを保障する**という観点に立って対応していくことが大切です。

学校での指導充実のために

カリキュラム
マネジメント

- 教科等横断的な視点で児童生徒の学校生活の充実を図れるよう、教育活動や時間の配分等を検討するとともに、地域や家庭の協力も得て児童生徒の学習の効果を最大化できるようにする。

感染状況や児童生徒・教職員の負担を勘案しつつ、指導の機会を確保

- 登校日の設定
- 空き教室や社会教育施設等を活用した分散登校
- 土曜日の活用
- 短時間授業等による授業コマ数の増加
- 長期休業期間の短縮
- 学校行事の重点化や準備時間の縮減

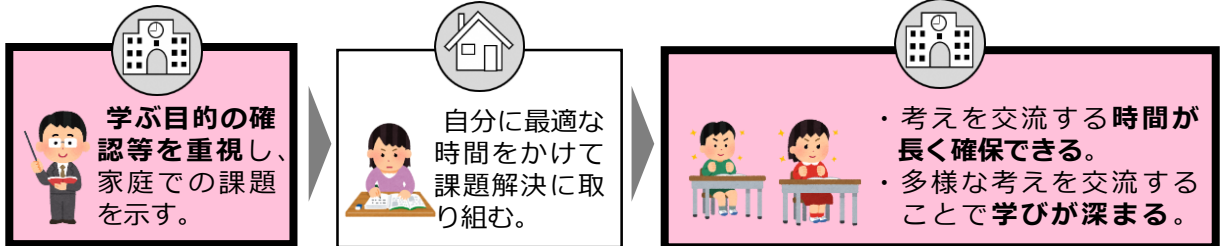
医療的ケアが日常的に必要であったり、基礎疾患等のある子どもたちが感染予防のために欠席したりする場合、保護者の意向により感染予防のために欠席する場合の出欠の取扱いや学習保障、臨時休業や分散登校を行っている期間中であっても、虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童等、特に配慮を要する子どもたちについては登校させたりするなど、きめ細かな対応のための工夫を行うことも大切です。

どのように
学ぶかを
柔軟に見直す

- 個人でも実施可能な学習活動の一部をICT等を活用して授業以外の場において行う。
- 学校の授業において行う学習活動を、学習への動機付けや協働学習、実習等、学校でしか実施できないことに重点化する。

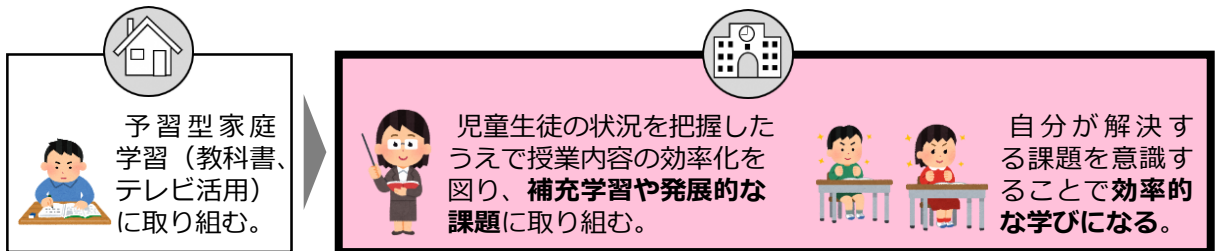
例1：学校では、動機付けと協働学習を重視する

P.2を参照



例2：学校では、児童生徒の実態に応じた課題解決を重視する

P.6を参照



例3：学校では、基本的な内容を押さえる

P.10～13を参照



指導方法の
工夫・改善
(ICT活用)

- 文部科学省のホームページ等で紹介している事例やコンテンツ等も参考にして充実に努めること。
- 家庭や学校にあるあらゆる機器や環境を最大限活用する。まずは、家庭のICT環境を早急に把握し、整っていない家庭に対しては学校の環境での対応や、国の予算を活用して環境整備を急ぐこと。

P.9を参照

通常の授業において積極的にICT機器を活用しておくことが大切です。

補足資料

家庭学習に主体的に取り組むためには、夢や目標をもち、それに向かう自覚があることが重要です。そのためには生活カード等を工夫して取組を可視化することが考えられます。

生活カードの例

めあてを自分で立てるようにします。
学期当初に立てた目標と関連させること等を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育みます。

生活カード


____年 ____組 ____番 名前 _____

今週のめあて

生活: **毎朝7時に起きる、運動を30分する**

学習: **1日2時間半の勉強**

夢チャレンジ: **コロナウイルスに対応する医者の仕事について調べる**



あなたの夢や目標とつなげて考えられるといいね!

	4/27 (月)	4/28 (火)	4/29 (水)	4/30 (木)	5/1 (金)	5/2 (土)	5/3 (日)
起床時刻	6:50	6:55					
体温	36.6	36.5					
運動時間	15分	35分					
学習時間	2時間	2時間半					

今週の学習 → **最終ゴール**

- ① 国語: **プリント3枚**
- ② 算数: **問題集P.45まで**
- ③ 社会: **NHKの番組を見てノートにまとめる**

夢チャレンジ

仕事調べ: **どんな役割を担当しているか知る**

学習面の気づきやふりかえり
学習時間はある程度確保できました。NHKの番組は興味深かった。歴史を文字で学ぶより、課題を考え、映像を見て、興味が広がりました。ただ、算数の課題が半分も終わっていないのが課題です。医者になりたいので、コロナ担当の医者役割を調べました。本当に大変なのがよくわかったので、フライデーオベーションを学校でもやってみたいと思いました。

生活面の気づきやふりかえり
起きる時間は毎日めあてを達成することができました。ただ、運動は続けていけないことがありました。自分の生活だけでなく、自分で管理することはなかなか難しいので、兄弟で声をかけあってみようと思います。

今後に向けて

家の人から	先生から
早起きをがんばったね!	フライデーオベーションはクラスでもできそうだね!

「夢チャレンジ」は自主学习です。総合的な学習の時間に関わる探究的な学習として設定することもできます。単発の取組よりも、夢や目標に関わるもの、継続的に取り組めるものがおすすめです。

「最終ゴール」がいわゆる課題です。教師が設定することも考えられます。左の10マスは進捗です。色を塗ることで、自分の努力を可視化します。継続的に学習に取り組む意欲を育み、振り返りを具体的にできるようにします。

- ☑ この生活カードは例です。学校や児童生徒の実態に合わせて変更も可能です。
- ☑ 一日の生活を考えさせることも有効だと考えられます。
- ☑ 夢や目標を児童生徒がもつことは、学ぶ意欲の向上につながります。一方的に課題を与えて取り組ませるだけでなく、課題を夢や目標と関連させる工夫も必要です。
- ☑ 児童生徒の情報活用能力を育むことは重要です。学校や家庭の環境によっては、生活カードをエクセルファイルで配信し、データで回収することも考えられます。

家庭学習に主体的に取り組むためには、各自で目標を決め、計画を立てて、振り返りながら学習を進めていくことが大切です。そのサイクルを繰り返し、規則正しい生活リズムを保つためには、**計画表等を工夫**することが考えられます。

計画表の例

令和2年3月6日 学力向上担当者通信
「臨時休業中の過ごし方について」



進め方

岡山県マスコット「ももっち」

- ①生活に必要な時間（食事、睡眠、入浴など）を書きましょう。
 - ②学習時間を書きましょう。
 - ③自分の自由な時間（手伝い、読書、音楽鑑賞など）を書きましょう。
- ※ 学習時間は、学校で示された目安の2倍をめざしましょう。

○計画表（中学生の例）

6時	7	8	9	10	11	12時	13	14	15	16	17	18時	19	20	21	22	23時
起床・朝食			学習①国語	学習②数学		昼食		学習③英語	読書	手伝い		学習④理科		夕食・お風呂		テレビ音楽	

起床や就寝は、学校があるときと同じくらいにしよう。

学習にとりかかる時間を決めよう。

家族のためにできることを考えよう。

テレビ、ゲーム、DVDやスマホなどのメディアは、時間を決めて利用しよう。

イメージをつくらう

目標を決めよう

○目標 【3月____日から____日までの計画】

生活面	
学習面	

○計画表

6時	7	8	9	10	11	12時	13	14	15	16	17	18時	19	20	21	22	23時

計画をしよう

○振り返り

生活面	
学習面	

実行し、改善しよう

終わりに

コロナウイルス感染症対策は長期間の取組になることも想定されています。今回の戸惑いや試行錯誤を「休業中の家庭学習の在り方」という枠ではなく、児童生徒が主体的に学習に取り組むにはどうすれば良いか、未来に向けて育む資質・能力はどのようなものかを改めて考え、学習観を転換する機会と捉え、学びの在り方を見直すことで学校教育の改善につなげていきましょう。

教師の授業改善として期待すること

- ・児童生徒が自律的に学ぶように、動機付けや導入の話を工夫したり、学習到達度等を事前に示したり、探求する課題を与えたりすることが日常的になる。
- ・テレビ放送やICTを活用した授業が日常的になる。
- ・児童生徒それぞれの夢や目標に基づいた主体的な学びが日常的になる。

児童生徒の学習改善として期待すること

- ・自分で目標をもち、自己調整を図りながら学ぶことが当たり前になる。
- ・家庭学習と授業をつなげて考えることが当たり前になる。

令和時代のスタンダードの授業に向けて期待すること

- ・教師が創造的な課題を設定し、一人一台パソコン環境を生かして、児童生徒が多様な方法で課題を解決する中で、自分の考えを表現できるように、これからの未来に求められる資質能力を育む学びを行う。

「令和時代のスタンダード」…令和元年12月19日 文部科学大臣メッセージより

「児童生徒が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくこと」

これは、児童生徒に関わる全ての大人に期待される役割として、学習指導要領前文に示されている言葉です。

授業改善、家庭学習の充実、保護者との連携等を通して、新たな一歩を踏み出し、「自律的学習者」の育成に取り組んでいきましょう。



- 本資料の無断転載は禁止します。
- 表紙画像はマイクロソフトの許可を得て使用しています。二次利用は禁止します。
- G Suite for Education、Google Classroom は Google LLC の商標です。
- お問い合わせは岡山県教育庁義務教育課（086-226-7584）までお願いします。